

第 40 回 マルちゃん杯 北海道少年柔道大会 開催要項

1. 目 的 : 柔道の試合を通じて心身の鍛練及びその技能を磨き、将来を担う北海道地区の少年相互の親睦を図り、明るく、正しくそして逞しい少年の健全育成を目的とする。
2. 主 催 : 一般社団法人 北海道柔道連盟・東洋水産株式会社
3. 主 管 : 苫小牧柔道連盟
4. 後 援 : 公益財団法人全日本柔道連盟・北海道・苫小牧市・苫小牧市教育委員会・公益財団法人北海道スポーツ協会・苫小牧市スポーツ協会・北海道スポーツ少年団・北海道新聞社・STV 札幌テレビ放送・HBC 北海道放送・北海道テレビ放送・北海道文化放送・テレビ北海道・生活協同組合コープさっぽろ
5. 日 時 : 令和 8 年 7 月 1 2 日 (日) 午前 7 : 3 0 (開 場)
午前 9 : 0 0 (開会式)
6. 会 場 : 苫小牧市総合体育館
〒053-0011 苫小牧市末広町3丁目2-6 TEL 0144-34-7715
7. 参加資格 : (1) 対象は小学生 (3 年生以上とする。)
・中学生とし、現に各加盟柔道団体の市町村の小学校・中学校に在学している者であって、「学校」「柔道場」「クラブ」「スポーツ少年団」等の全柔連登録単位とする。
(2) 参加者については、選手本人の出場意思を確認し、健康に十分な配慮を行い保護者並びに学校の承認を得たものに限る。但し、医師の健康診断書の添付は不要とする。
(3) 出場チームには、指導者が必ず監督として引率していること。勝敗にこだわり、選手を臨時に他のチームから移籍する等の行為があった場合は、そのチームを失格とし、今後の本大会の出場を認めない。(選手は現に出場チーム (団体) で継続練習をし、かつ同チーム (団体) で (4) の登録を完了していること。)
(4) 監督・チーム (団体)・選手とも北海道柔道連盟をとおして、該当年度公益財団法人全日本柔道連盟に登録をしていること。(未登録のチームは、本大会に出場できないので、速やかに所属柔道連盟に登録手続きを行うこととし、所属連盟は登録の有無を確認のうえ申込みをすること。)
※同一チームが、小学生の部・中学生男子の部及び中学生女子の部に出場する場合の監督は、兼任出来ない。
(5) 監督は全日本柔道連盟指導者資格を有している者。
(6) 監督は必ず一般社団法人北海道柔道連盟指定の公認指導者資格 ID カードを携帯すること。
(忘れた場合は、監督席に入ることは出来ない。)
(7) 皮膚真菌症 (トングランス感染症) について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
8. 審判規定 : (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び少年大会試合審判規程で行う。
(2) 試合時間は、小学生の部・中学生 (男・女) の部とも 2 分とする。
但し、小学生の部及び中学生の部は、準々決勝戦以上から 3 分とし、中学生女子の部は、準決勝戦以上から 3 分間とする。
(3) 勝敗の判定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」とする。「僅差」とは双方の選手間に、技による評価 (有効) がない、又は同等の場合、「指導」差が 2 以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝とする。得点差がなく、かつ「指導」の差が 1 以内の場合は「引き分け」とする。
(4) 中学生の絞め技は、禁止とする。

9. 試合方法 : (1) 小学生の部及び中学生(男・女)の部ごとのトーナメント戦で行う。
- (2) チーム編成は、小学生の部及び中学生男子の部は監督1名・選手5名・補欠2名、計8名、中学生女子の部は監督1名・選手3名・補欠1名、計5名とする。なお、小学生の部及び中学生男子の部にあって、やむをえず選手が5名に満たない場合は、3名以上、中学生女子の部にあっては2名以上であれば出場できる。
- (3) 選手のオーダーは、段・級及び学年は自由とするが、負傷・事故防止のため、体重の重い順に大将から配列するものとし、試合中に負傷等で欠員が生じた場合も大将から順に配列し、最も軽い位置を欠員とする。なお、小学生の部においては男女の混合を認めるが、中学生の部においては男女の混合を認めない。
- (4) チーム間の勝敗は次の通りとする。
- ① 勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ② ①で同等の場合は、「一本」(それと同等の勝ちを含む)による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ③ ②で同等の場合は、「技あり」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ④ ③で同等の場合は、「有効」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ⑤ ④で同等の場合は、代表戦で勝敗を決する。
- (5) 代表戦は、小学生の部・中学生(男・女)の部とも2分間で行い、得点差がなく、かつ、「指導」の差1以内の場合は旗判定で勝敗を決定する。(GSは行わない)
- (但し、小学生の部及び中学生男子の部は準々決勝戦、中学生女子の部は準決勝戦から3分間とする。)
- なお、出場する選手は、「引き分け」であった対戦の中から1試合を抽選で決定する。

10. 審判・監督 : 令和8年7月12日(日)下記の通り、試合会場(第1練習室)にて行う。

会議 審判・監督会議 : 8時20分から

11. 体重測定 : 出場チーム全員の体重測定を行う。

令和8年7月11日(土) 12:00~13:30 (柔道教室開始前)

令和8年7月11日(土) 16:30~17:30 (柔道教室終了後)

令和8年7月12日(日) 7:30~ 8:30

※小学生 : 第2練習室、中学生男子 : 会議室、中学生女子 : 応接室

12. ゼッケン : (1) 参加選手はゼッケン(名字、所属名入り)を柔道衣に取り付けること。

(2) ゼッケンを取り付けていない選手は、出場できない。

布 地	白色
サ イ ズ	横30cm~35cm×縦25cm~30cm
文 字 位 置	苗字は上部2/3、所属名(都道府県名)は下部1/3
書 体	ゴシック又は楷書で男子は黒字、女子は朱字で記載する。
縫 い 位 置	後ろ襟から5cm~10cm下部とし、対角線にも強い糸で縫い付ける

(3) 柔道衣に関しては、現在着用しているもので可。

(4) 小学生については、最小数値より小さく大会運営規則を定めることができる。

(5) 全国大会に出場する選手は、各自ゼッケンを用意すること。

13. 表 彰 : (1) 上位4チーム(中学生男子の部は上位6チーム)の入賞チームに一般社団法人北海道柔道連盟及び東洋水産株式会社から賞状(小学生の部及び中学生女子の部は第3位まで、中学生男子の部は第5位まで)及び賞品を授与する。

(2) 入賞チームの中から最優秀選手を選考し、各部1名にフレッド・ワタ杯を授与する。

(3) 小学生の部及び中学生男子の部、中学生女子の部の中から敢闘選手を選考し、各部1名に依田勉三賞を授与する。

- (4) 小学生の部及び中学生男子の部、中学生女子の部の中から敢闘選手を選考し、各部1名に佐藤宣践杯を授与する。
- (5) 入賞チームの中から優秀選手を選考し、小学生の部及び中学生男子の部は、5名、中学生女子の部は3名に優秀選手賞を授与する。
- (6) 「令和8年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会」への派遣
令和8年9月20日(日) 於：東京武道館 主催：公益財団法人全日本柔道連盟
特別協賛：東洋水産株式会社
・小学生の部(上位4チーム)、中学生男子の部(上位6チーム)及び中学生女子の部(上位2チーム)を派遣する。なお、全国大会への出場選手は今大会のプログラムメンバーに限る。
※同一所属で出場する場合は2チームまでとする。なお、マルちゃん杯全日本少年柔道大会への派遣は1チームのみとする。

(7) 出場者全員に東洋水産株式会社から参加賞を授与する。

14. 申込方法 : 申し込み期限令和8年6月19日(金) 必着
参加申込者は、要項の7・参加資格(4)を確認の上、直接、データで北海道柔道連盟および苫小牧柔道連盟事務局のアドレスにメールで申込みをすること。
苫柔連アドレス：toma.judo.fed@gmail.com 道柔連アドレス：hokkaidojudo@yahoo.co.jp
《記載事項はもれなく記入し、不備のある場合は受付けない。》
15. 参加料 : 無 料
16. 抽選会 : 令和8年6月26日(金) 一般社団法人北海道柔道連盟事務局において、主管苫小牧柔道連盟及び東洋水産株式会社立会の下に行う。
17. 傷害保険 : (1) 主催者は、参加者全員の傷害保険に加入し費用を負担する。
(2) 参加選手は、健康保険証を必ず持参すること。
(3) 主催者は、大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置を施すが、それ以外の責任は負わない。
※万一の事故の発生に備え、各チーム独自で傷害保険等に参加するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
18. その他 : (1) 個人情報の取り扱いについて
申込用紙に記載される事項(選手の氏名・学校名・身長・体重等)は大会プログラムに掲載されます。また、大会結果・写真等の新聞・雑誌・ホームページへの掲載については保護者からの承諾を得たものとして取り扱わせて頂きます。
(2) 大切な成長過程にあることを重視し、減量行はってはいけません。
(3) 「脳震盪」に関する扱いは以下の通りとする。
① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
④ 当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
(4) 会場・駐車場のご案内
別紙参照の上ご利用ください。(路上駐車不可)
※道柔連HPを確認すること。
19. 問合せ先 : 苫小牧柔道連盟 事務局 吉川 哲矢
Tel : 080 (5596) 6957